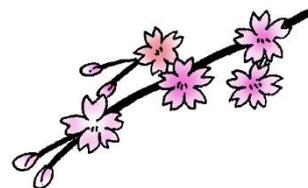


子どもたち、お父さん・お母さんたち、入園おめでとうございます。
ののかぜ保育園はみんなで作っていく、みんなの保育園です。
緑の丘福祉社会が大切にしている「共育ち」の理念を生かし、みんなで力を合わせ共に育ち合って行きましょう。



保育園にはじめてお子さんを預けることになる、お父さんやお母さんは“大丈夫かな？”“本当に大切な我が子を預けてよかったのかな？”と心配されるのではないのでしょうか？そんな思いは誰もが思うことです。保育園には同じようにそんな思いを持って子どもを預けはじめた、先輩お父さん、お母さんがいます。ぜひ、そんなお父さん、お母さんの力も借りて、助け合える大人の輪を作って行ってください。

保育園は引き続きコロナ感染対策に気を付けながら保育を続けています。父母の皆さんにも協力いただくことがたくさんあるかと思いますが、よろしくお祈りします。

いま、ウクライナではロシアの侵略によって無差別な攻撃が繰り返され、町は破壊され子どもたちも含む多くの人たちが犠牲になり亡くなったり、傷ついたりしています。

渦中にある人々のことを思うと本当に悲しくなります。一日も早くウクライナへの攻撃が収まることを祈っています。

さて、子どもたちの育ちにとっては、遊びの仲間が必要で、保育園は遊ぶ仲間を保障していく場所です。子どもたちは、友だちが大好きです。友だちと一緒にいっぱい遊び、時にはケンカもしながら、相手の思いに気付き育ちあって行きます。

子どもの権利条約には、休息、文化的芸術的生活への参加と並んで、遊びの権利が謳われています。子どもたちは、遊びの名人です。遊びには「時間」「空間」「仲間」が必要で、これらを保障することで生き生きと育って行きます。また、好きなことに夢中になること、その時間をたっぷり保障していく中で子どもはたくさんの引き出しを作っていくと思っています。

大宮勇雄氏（元仙台大学）は、「私たちのよりどころは日本国憲法で、特に第26条の教育を受ける権利です。そして幸せな日々を創り出すことこそが保育の最終目的です。その中で私たちの大事な子どもたちは、必ずや『力強い学び手』に育ちます。私たちは日本国憲法に基づいた保育をする必要があるのではないのでしょうか」と述べられています。

ののかぜ保育園は、児童福祉法で定められた国や自治体が責任を持って保育の実施を行うという、本来あるべき保育制度を守って行く取り組みを全国の仲間と共に行っています。子どもたちが大切にされる保育制度を守ると共に、さらに発展されることが出来るよう共に作っていきましょう。

